

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	Fromjob姫路西御着
住 所	姫路市御国野町御着403-2
電話番号	079-280-2235

事業所番号	2814004129
管理者名	久保忍
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		55
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方 (※)		点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 就業規則等で定めている		15
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		5
(*) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(IV) 支援力向上 (※)		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	○	15
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		5
(*) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計

145

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度 (R7年度)					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	12,177	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,596	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.6	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間 (4月～ 3月)					
前々々年度 (年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った資金総額	円	収支	円
前々年度 (年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った資金総額	円	収支	円
前年度 (R7年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	16,611,300	円	利用者に支払った資金総額	16,611,254	円
			収支	46	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度 (R7年度) における取組 (全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)					
① 免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		② 利用者を職員として登用する制度		③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
① 免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>		② 利用者を職員として登用する制度を定めている <input type="checkbox"/>		③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>	
④ フレックスタイム制に係る労働条件		⑤ 短時間勤務に係る労働条件		⑥ 時差出勤制度に係る労働条件	
④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	
⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項			
⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input type="checkbox"/>		⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度 (R7年度) における取組 (全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)					
① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		② 研修、学会等又は学会誌等において発表		③ 視察・実習の実施又は受け入れ	
① 研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>		② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/>		③ 先進的事業者の視察・実習の実施している <input type="checkbox"/>	
① 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名 障害者雇用を「戦略的戦力へ」実施日 2月26日		もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input type="checkbox"/>	
※研修名 物流生産性向上徹底効率化研修		※学会誌等名		※先進的事業者名	
研修講師 岩崎文雄		掲載日 月 日		実施日/参加者数 月 日 人	
実施日・受講者数 12月25日 10人		発表テーマ		※他の事業所名 Fromjob東住吉	
④ 販路拡大の商談会等への参加		⑤ 職員の人事評価制度		⑥ ピアサポーターの配置	
④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input type="checkbox"/>		⑤ 職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/>		⑥ ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/>	
※商談会等名 インターペット大阪		⑤ 当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/>		⑥ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/>	
主催者名 一般社団法人ペットフード協会他		人事評価制度の周知日 令和7年4月1日		※配置期間 月 日～月 日	
日時 2025年 6月 13日		人事評価制度の対象職員数 9名		就業時間	
内容 新規取引先の開拓、検討		うち昇給・昇格を行った者 1名		職務内容	
		当該人事評価制度の周知方法 職員面談等			
⑦ 第三者評価		⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
① 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Fromjob姫路西御着	事業所番号	2814004129
住 所	姫路市御国野町御着403-2	管理者名	久保忍
電話番号	079-280-2235	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 株式会社UltimateLife 兵庫第一工場</p> <p>実施日程 月～金 9:30～16:30</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 充填、シーラー、検品、梱包作業 など</p> <p>利用者数 等 3名～5名</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般公用地の清掃を通じた地元企業との連携 ・地元企業と連携を取り地域に貢献する ・賃金向上 ・人材不足の解消 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般就労に近い環境で経験をさせていただいています。提携先からの評価も向上し手ごたえを感じているところです。作業に慣れ自信や意欲に繋がっています。引き続き安定した定着に向けて取り組んでいきたいと思ひます。 今後の課題点については、作業の生産性を意識し作業スピードを上げていきたいと思ひます。 	<p><活動の様子></p> 
--	--

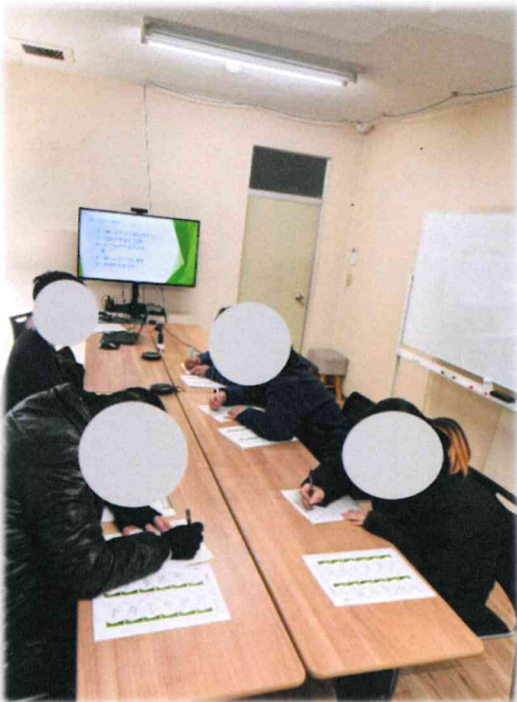
連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価			
<p>・姫路第一工場は稼働開始から間もない状況ではございますが、現場作業者の工程理解が着実に深まっており、現在は安定した操業体制が構築されつつあります。立ち上げ期における皆様のご協力に、深く感謝しております。今後はこの安定化を維持しつつ、さらなる生産性の向上に向け、引き続き緊密な連携のもと取り組んでいきたいと思ひます。</p>			
今後の連携強化に向けた課題			
<p>・今後も引き続き安定した出勤と作業の生産性を意識し、作業スピードの向上も目指してまいります。</p>			
連携先企業名	株式会社UltimateLife (姫路第一工場)	担当者名	岩本

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Fromjob姫路西御着	事業所番号	2814004129
住 所	姫路市御国野町御着403-2	管理者名	久保忍
電話番号	079-280-2235	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 : Fromjob姫路西御着</p> <p>実施日程 : 令和8年2月17日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 ソーシャルスキルについて</p> <p>利用者数 : 6名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>働くために大切な事、人との関わり方、社会の基本的なルール 等</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>仕事に向けた準備「少し出来そう」を目指す。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果・得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これ、出来ていないな」に気づく。 ・「これなら今日から出来るかも」と意識する。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修時、もう少し皆で意見交換が出来るように促していく 	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や丁寧な言葉遣いなど、周りへの「思いやり」を持った行動の大切さ、職場の雰囲気づくりの大切さ、働きやすさに繋がることを研修でお伝えしました。 <p>意識を持って取り組む事の大切さに気付かれた方もおられましたので、支援者側も意識を持った関りに気をつけていきたいと思ひます。</p>	
連携先企業（担当者）	FJ姫路西御着 サービス管理責任者（久保忍）

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> ・「少し分からない」と伝えることは悪いことではないと学んだ。 ・失敗はダメではなく、その後の報告が大切だと分かった。 ・言葉使いなど出来る事から始めたいと思う。
--